

令和4年度 原子力被災自治体における 住民意向調査 調査結果（概要）

■調査の概要

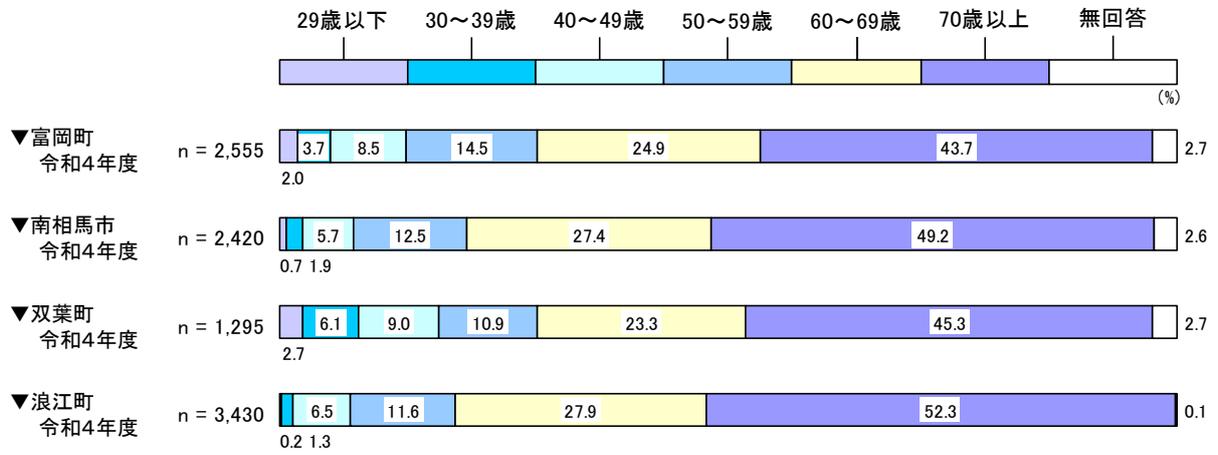
1. 調査目的：福島県内の原子力災害による避難住民の早期帰還・定住に向けた環境整備等のための基礎情報収集を目的に住民意向調査を実施
2. 調査主体：復興庁、福島県、各市町が共同で実施
3. 実施市町村：富岡町、南相馬市、双葉町、浪江町の4市町
4. 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収）
5. 調査対象：各世帯の代表者
6. 主な調査項目：帰還に関する意向、帰還の判断に必要な条件など

■調査対象となった各市町村の調査実施状況は以下のとおり。

	対象町	対象地域	記名・無記名	対象世帯数	回答世帯数	有効回収率	調査実施期間
1	富岡町	全域	無記名	6,093	2,555	41.9% (47.8%)	令和4年 9月12日～9月26日
2	南相馬市	小高区 原町区の一部	無記名	4,021	2,420	60.2% (65.3%)	令和4年 9月20日～10月4日
3	双葉町	全域	記名	3,270	1,295	39.6% (47.8%)	令和4年 11月14日～11月28日
4	浪江町	全域	記名	7,272	3,430	47.2% (49.6%)	令和4年 11月21日～12月5日

※（ ）内は令和3年度

回答者の属性（年齢）

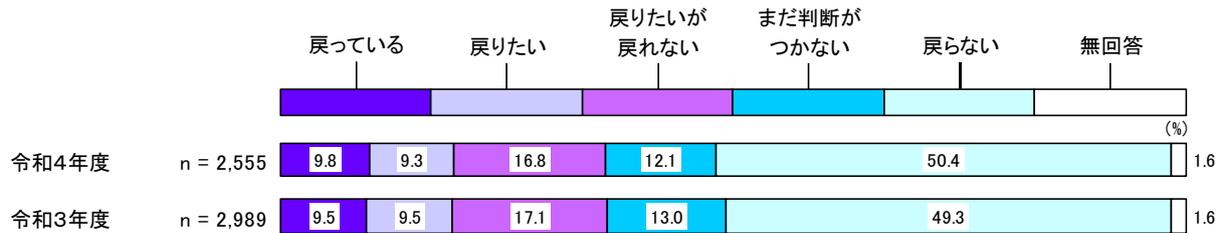


帰還意向

○令和4年度の調査結果によると、4市町とも「戻っている」及び「戻りたい」と回答した方の割合（合算）が増加している。

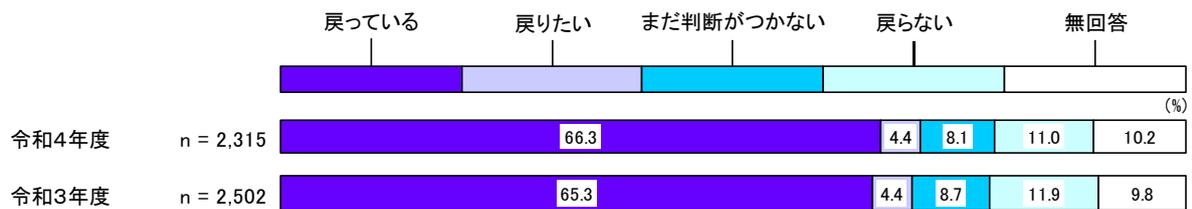
<富岡町>

※平成29年4月1日に避難指示の一部解除



<南相馬市>

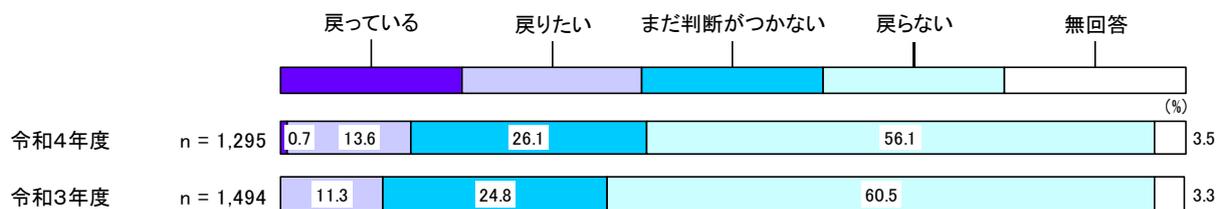
※平成28年7月12日に避難指示の一部解除



※震災発生当時、避難指示区域に指定された地域にお住まいの世帯が対象

<双葉町>

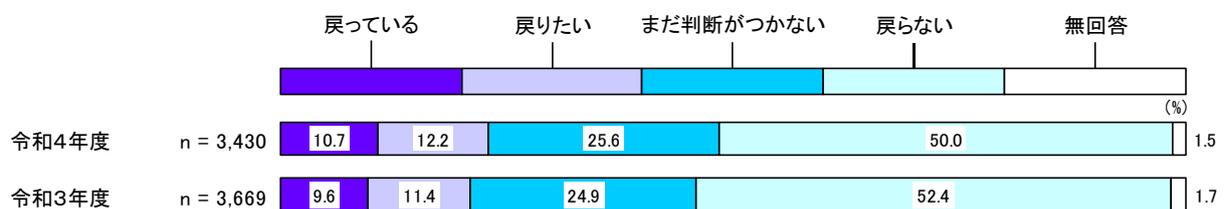
※令和4年8月30日に避難指示の一部解除



※令和3年度は、「戻っている」は聴取していない

<浪江町>

※平成29年3月31日に避難指示の一部解除



帰還を決めた理由

○帰還意向において「戻っている」と回答した方が帰還を決めた理由として、「気持ちが安らぐこと」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和4年度 n=251	気持ちが安らぐこと 55.4%	医療機関が開院したこと 41.8%	役場機能が再開したこと 40.6%	水道水等、生活用水の 安全性が確認されたこと 37.8%	放射線量が低減された こと 31.1%
浪江町 令和4年度 n=368	浪江での生活は気持ちが 安らぐから 70.7%	放射線量が低減される など、不安が少しずつ 払拭されてきたから 27.4%	勤務先が近いから 15.5%	友人・知人等が町内に 多く居住しているから 13.9%	見守り隊のパトロール などにより安心して生活 できると判断したから 11.4%

< (参考) 前回調査結果 >

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和3年度 n=284	気持ちが安らぐこと 54.9%	医療機関が開院したこと 42.3%	水道水等、生活用水の 安全性が確認されたこと 37.7%	放射線量が低減された こと 36.6%	役場機能が再開したこと 34.5%
浪江町 令和3年度 n=353	浪江での生活は気持ちが 安らぐから 66.9%	放射線量が低減される など、不安が少しずつ 払拭されてきたから 25.5%	勤務先が近いから 17.6%	見守り隊のパトロール などにより安心して生活 できると判断したから 13.9%	公営住宅・居住環境が 整備されたから 11.6%

帰還を判断するために必要な条件

○帰還意向において「まだ判断がつかない」と回答した方が、帰還を判断するために必要な条件として、「医療機関の拡充等」「商業施設の充実」「住民の帰還状況」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和4年度 n=309	医療機関(診療科)の拡充 57.9%	商業施設の充実 47.9%	どの程度の住民が 戻るかの状況 36.6%	介護・福祉施設の充実 34.3%	防犯・防火対策の強化 20.7%
南相馬市 令和4年度 n=188	医療機関(診療科)の状況 52.1%	商業施設の状況 39.4%	介護・福祉施設の状況 37.8%	有害鳥獣対策の強化 26.1%	どの程度の住民が 戻るかの状況、等 23.4%
双葉町 令和4年度 n=338	医療・介護福祉施設の 再開や新設 45.6%	商業施設の再開や新設 30.8%	除染・解体に関する情報 19.8%	上下水道等ライフラインの 整備状況に関する情報 18.0%	双葉町の今後の姿 13.3%
浪江町 令和4年度 n=877	医療・介護の復旧時期の 目途 57.4%	商業やサービス業などの 施設の復旧時期の目途 36.3%	どの程度の住民が 戻るかの状況 33.8%	住宅確保への支援に 関する情報 24.6%	放射線量の低下の目途、 除染成果の状況 21.8%

■南相馬市は、「どの程度の住民が戻るかの状況」「原子力発電所の安全性に関する情報（廃炉作業の状況）」の2項目が同率で5位となっている

< (参考) 前回調査結果 >

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和3年度 n=389	医療機関(診療科)の拡充 54.0%	商業施設の充実 45.5%	介護・福祉施設の充実 33.2%	どの程度の住民が 戻るかの状況 32.4%	原子力発電所の安全性に 関する情報(事故収束や 廃炉の状況) 26.2%
南相馬市 令和3年度 n=217	医療機関(診療科)の状況 53.5%	介護・福祉施設の状況 38.7%	商業施設の状況 35.9%	原子力発電所の安全性に 関する情報 (廃炉作業の状況) 31.8%	公共交通機関の状況 24.4%
双葉町 令和3年度 n=371	医療・介護福祉施設の 再開や新設 48.2%	商業施設の再開や新設 28.8%	上下水道等ライフラインの 整備状況に関する情報 25.6%	双葉町の今後の姿 15.9%	JR双葉駅西側に整備する 新たな公営住宅に関する 情報 14.6%
浪江町 令和3年度 n=914	医療・介護の復旧時期の 目途 55.1%	どの程度の住民が 戻るかの状況 35.7%	商業やサービス業などの 施設の復旧時期の目途 34.7%	放射線量の低下の目途、 除染成果の状況 26.4%	原子力発電所に関する 情報(事故収束や廃炉の 状況) 26.4%

■浪江町は、「放射線量の低下の目途、除染成果の状況」「原子力発電所に関する情報（事故収束や廃炉の状況）」の2項目が同率であるが、グラフの表記上4～5位に分けて表示している

帰還しないと決めている理由

○帰還意向において「戻らない」と回答した方が、帰還しないと決めている理由として、「すでに生活基盤ができているから」「すでに自宅を解体してしまっているから」「避難先の方が、生活利便性が高いから」などが上位にあげられている。

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和4年度 n=1,287	すでに生活基盤が できているから 64.2%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 42.7%	医療環境に 不安があるから 30.8%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 24.9%	原子力発電所の安全性に 不安があるから 22.5%
南相馬市 令和4年度 n=254	すでに恒久的住宅を 取得したから 50.4%	すでに生活基盤が できているから 50.0%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 41.3%	医療環境に 不安があるから 39.8%	原子力発電所の安全性 (廃炉作業の難航)に 不安があるから 34.6%
双葉町 令和4年度 n=727	避難先で自宅を購入 または建築し、将来も継続 的に居住する予定だから 55.2%	すでに自宅を解体して しまっているから 41.0%	医療環境に不安が あるから 41.0%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 33.7%	生活に必要な商店などが 元に戻りそうにないから 30.5%
浪江町 令和4年度 n=1,715	すでに生活基盤が できているから 52.2%	元の住家を解体しており、 戻る家がないから 49.7%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 43.0%	医療環境に不安が あるから 39.3%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 25.2%

< (参考) 前回調査結果 >

※複数回答可

	1位	2位	3位	4位	5位
富岡町 令和3年度 n=1,474	すでに生活基盤が できているから 66.1%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 40.2%	医療環境に不安が あるから 29.9%	原子力発電所の安全性に 不安があるから 23.6%	生活に必要な商業施設 などが不足しているから 23.1%
南相馬市 令和3年度 n=298	すでに恒久的住宅を 取得したから 55.4%	すでに生活基盤が できているから 53.7%	医療環境に不安が あるから 41.6%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 40.9%	原子力発電所の安全性 (廃炉作業の難航)に 不安があるから 34.6%
双葉町 令和3年度 n=904	避難先で自宅を購入 または建築し、将来も継続 的に居住する予定だから 56.6%	医療環境に不安が あるから 45.7%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 39.5%	生活に必要な商店などが 元に戻りそうにないから 34.1%	水道水などの生活用水の 安全性に不安があるから 31.0%
浪江町 令和3年度 n=1,921	すでに生活基盤が できているから 49.8%	元の住家を解体しており、 戻る家がないから 46.0%	避難先の方が、 生活利便性が高いから 38.4%	医療環境に不安が あるから 36.5%	原子力発電所の安全性に 不安があるから 26.1%